

マス コミ	文化情報 労組会議 No.005 2004	編集発行: MIC-UNIONS 日本マスコミ文化情報労組会議
		JAPAN CONGRESS OF MASS MEDIA, INFORMATION & CULTURE WORKER'S UNIONS
		東京都文京区本郷2-10-9富士ビル3F TEL.03-3816-2988 FAX.03-3816-2993
		E-mail: mic@union-net.or.jp http://www.union-net.or.jp/mic/

## 凸版争議 6・18 集会「平和・人権を守る夕べ」 集会成功に確信 早期解決へ新たな決意

凸版争議の早期解決をめざす6・18集会「平和・人権を守る夕べ」が、6月18日夜、池袋の豊島公会堂で行われました。印刷・出版をはじめとするMIC各単産、板橋・文京・豊島・北・練馬の北部地域、解雇や差別をともにたたかう争議団の仲間たち、そのほか190をこす労働組合・団体から約500人の参加を得るとともに、210をこす団体と個人から集会への賛同金が寄せられ、財政的な心配もきれいに吹き飛ばす盛会となりました。

司会は全印総連東京地連執行委員の小澤清美さん。冒頭、支援共闘会議議長の新村恭さん（MIC副議長）が主催者挨拶し、争議の経過と現状、闘いの意義、集会の位置づけなどを話しました。

続いてピンクのドレスに身を包んだ中川美保さんがサクソフォンを携えて登場し、ピアノの伴奏で「ハンガリー舞曲第5番」「愛の賛歌」など耳慣れた5曲を演奏し、聴衆を魅了しました。

サクソフォンの余韻の残るなか、女優で方言指導者の大原穠子さんが「平和憲法と私」と題して講演。自身の経験を織り込みながら、著書「おくにことばで憲法を」のなかから大阪弁や広島弁などで憲法前文や第9条などを読み上げ、方言のもつ懐かしい響きを会場一杯に広げました。

次いで暗くなった舞台に大きなスクリーンが下ろされ、スライド「凸版労組・40年間の闘い」（20分）が上映されました。40年前の激しく巧妙な組合分裂攻撃から始まって、全印総連に残ったがために受けてきた数々の差別・解雇・配転・暴力、そして現在の都労委闘争へと、長くて苦しいが労働者の誇りをか

けた闘いの数々が、当時の生々しい写真や新聞記事などによって映し出されました。

大きな拍手のうちにスライドが終了。司会者の紹介で参加した25争議団と凸版労組の仲間たちが登壇。東京争議団共闘会議の小関守議長が代表して連帯挨拶をしたあと、凸版労組の全員がひとことずつ訴えをしました。淡々と、激しく、また声をつまらせ、自らの差別と闘いの経験や心情を述べる姿に会場から激励の拍手とかけ声が飛びました。最後に、居並ぶ争議団を背に、深野良勝全印総連中央執行委員長が閉会挨拶をしました（写真）。

「争議の内容がよく分かった」と好評を博したスライド、会場を振るわせたサクソフォンの調べ、時宜にかなった企画と評価された憲法の話など - 内容的にも成功を収めたと言えるのではないかと思います。多くの方々の、さまざまなお協力に深く感謝するとともに、これを力に、争議の早期解決をめざしてよりいっそう奮闘する決意です。

今後ともご支援をよろしくお願いします。



## MIC時短労災セミナー「通達・指針の活用を」

MICは時短労災セミナーを6月12日、造船会館会議室で開き、9人が参加した。セミナーでは東京社会医学研究センター理事の村上剛志氏が「安全と健康をまもる対策と最近の通達・指針の活用」について約2時間にわたって基調講演した。

村上氏は労働者の安全が脅かされているとして、「昨年から今年にかけて重大災害が続出している。その根源には安全を無視した企業のリストラ『合理化』・人減らしがある。金ばかりかかり、儲からない投資はしないという安全を無視してきた現れで、事故が経営危機に直結するケースが多くなっている」、同時に「労働組合の活動、職場の安全衛生活動が弱体化していることに問題がある」と指摘した。

また「残業時間が月80時間を超える企業が54%にも達し、定期健康診断の有所見率は2002年が46.6%で、12年連続上昇し2倍になった」と健康が深刻な状態になっており、このままでは労働者の安全と健康が危ない、本腰を入れて取り組むことが大切だと話した。

労働基準法は1条で労働条件の原則として、人たるに値するものでなければならず、労基法は最低の基準であるとして向上を求めている。労働安全衛生法は昭和47年に制定され目的を「安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を促進する」と定めている。これにそって出される通達や指針を活用していくことが大切だと述べた。2000年以降出された「事業場における心の健康づくりのための指針」、「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関する基準」、「過重労働による健康障害防止の総合対策について」、「新VDT作業ガイドライン」、「不払い残業解消総合対策要綱・指針」などに共通するのは、長時間労働の是正であり、社会の荒廃や健康破壊の原因になっている。またストレスを引き起こす原因でもあり、ストレスを

つくらない職場環境と労働条件の確立に力を注ぐ必要があると指摘した。

これらの通達のキーワードは健康障害防止。電通過労死事件で最高裁が1億2000万円の損害賠償を命じたことが発端で、事業者の「健康に配慮」する注意義務を怠ったとしている。安全衛生の水準の向上を図るためには「継続的かつ計画的」に進めることがポイントだ。国際的な基準に照らしても日本は是正を求められている。

労働組合の真価は、いのちと健康を守ること。活動の中心に位置づけ安全衛生委員会と連携して取り組むことが大切だと話した。

講演後、参加者からはそれぞれの職場の実情を説明しながら、「産業医の活用はどのように進めるか」「サービス残業が常態化している。これは職場の風土が反映している。そう簡単になくせない」「残業を減らすためにペナルティーをかけることを要求したいと思うが…」など次々、質問や意見が出された。

私たちの職場であるマスコミ・文化・情報産業のなかでも人減らし、アウトソーシング、契約・派遣社員やパート・アルバイトへの切り替えがすすめる一方で、成果主義・能力主義の人事・賃金制度の導入などで管理強化が強められている。この結果、長時間・過密労働が蔓延し、いのちと健康が脅かされており、労働組合の活動の真価が問われる。



## ピースキャンドルナイト行動 アメリカ大使館を包囲する

都内の弁護士らがよびかけた6月30日のアメリカ軍のイラクからの撤退を求めた、ピースキャンドルナイト行動が400名の参加で行われた。

アメリカ大使館前で設定されたこの行動は、警察の規制で大使館から離れたJTBビル前で7時より行われた。手に手にキャンドルをもった参加者の前で、リレー式にトークがなされていく。大使館に響けと、5分間も連続したシュプレヒコールや、歌声等も交えたトークでは、多国籍軍への参加を表明した小泉首相への抗議や、暴力の連鎖を断ち切れとの声が発せられた。

そして、「半減期45億年の劣化ウラン弾を、貴国の倉庫から全部持ち出して、イラクの大地で使い尽くしたこの戦争は誰のためだったのか」「私たちはイラクの民衆の命をここに灯し、貴国の戦争犯罪を糾弾する」との決議を確認した。代表が、大使館に送って散会した。



## 65歳定年・継続雇用が義務化！！

6月16日に閉会した国会で、年金改革関連法案と一緒に「高年齢者等雇用安定法」が改正されました。改正法の主な点は、65歳までの継続雇用の義務化、高年齢者の再就職の促進、シルバー人材センターの業務の特例などです。

<改正要旨>

2006年4月から7年かけて定年又は継続雇用の年齢が延長され、2013年4月からは65歳になる。

<改正法のポイント>

1. 65歳未満の定年を定めている事業主は、2006年4月から次のいずれかの措置をとること。

定年年齢の引き上げ

継続雇用制度の導入

定年の定め廃止

2. 定年又は継続雇用の年齢は、次の年度ごとに以下の区分とする。

2006年4月～2007年3月まで...62歳

2007年4月～2010年3月まで...63歳

2010年4月～2013年3月まで...64歳

2013年4月から、定年又は継続雇用の年齢は65歳。

## 映画演劇労働組合総連合(映演総連)のMIC加盟を承認

6月23日に開催されたMIC幹事会は、映演総連から出されていたMICへの加盟申請を全会一致で承認し、同日付で映演総連はMICの正式加盟メンバーとなった。

映演総連はこれまで映演共闘の一員としてMICの活動に参加してきたが、このほど映演共闘を休会することとなったため、MICに引き続き参加し活動を継続したいとして単独加盟の申請をMICにおこなっていた。

MIC幹事会としては事務局内に対策プロジェクトを発足させ、映演共闘、映演総連の双方と協議を重ねてきたが、映演総連の映演共闘休会中の一時的な措置に限ることを前提に、映演総連のMIC加盟を承認することで合意に達したものの。

MIC幹事会の役員については、副議長を映演共闘から、事務局次長は両者から一名ずつ、幹事は映演総連から選出することとなった。将来、映演総連が映演共闘に復帰した場合には、MIC加盟もかつてのとおり一本化することが確認されている。

映演総連からのMIC役員は、事務局次長に梯俊明氏(映演総連事務局長)、幹事に海老原卓生氏(映演総連副委員長)が就任することとなった。

## M I C 労 供 ～ 供給・派遣の勧め～

### 供給・派遣の始まり

1999年12月の職安法改正で労供事業を営む労働組合が自ら派遣事業体を持てるようになりました。これは、労働組合が派遣事業体を持つことで事業主性を確保し、社会労働保険を適用しようとするものです。労働組合から派遣事業体に供給し、そこで雇用し派遣するという供給と派遣を組み合わせた仕組み（供給・派遣）で、従来の供給先との間に組合が作った派遣事業体が入ることになります。

コンピュータ・ユニオン、東京ユニオンなどが中心になり、労働者供給事業のさらなる発展、そして派遣労働者の組織化を図ることを目的に、OAスタッフの派遣事業体である企業組合スタッフフォーラムを1999年12月に立上げました。そして、2000年1月1日に派遣の許可を得、OAスタッフの派遣を開始しました。

さらに企業組合コンピュータユニオンでも2001年4月に派遣の許可を取り、SE・プログラマーの供給・派遣を開始しました。このことにより、国民健康保険、国民年金であったのが社会保険に入るとともに雇用保険、労災保険に入ることができるようになりました。

### 音楽家の派遣も開始する

昨年2月から音楽ユニオンと企業組合スタッフフォーラムが提携して、供給・派遣の仕組みの元、音楽家（音楽演奏、音楽講師）の派遣も開始しました。事業開始と同時にホームページ（<http://www.staff-forum.com/music/>）も立上げました。その後、現在まで音楽家から登録依頼が50件以上届いています。

今まで結婚式での演奏、音楽家の派遣を行っています。

音楽家派遣の問合せは下記まで。

E-mail : [music@staff-forum.com](mailto:music@staff-forum.com)

TEL : 03-5338-7780

**音楽は生がいい!!**  
▶お問い合わせ

「音楽のプロフェッショナル」とのニーズにお応えし  
音楽家との出会いをお手伝いいたします。

音楽家の派遣  
音楽講師の派遣  
O&A  
登録者音楽  
演奏家紹介

企業組合スタッフフォーラム エンターテインメント事業部  
〒160-0028 東京都新宿区西新宿7-22-18オアシスRビル1階  
TEL:03-5338-7780 FAX:03-5338-1267

03002844

## 核のない世界を！MIC広島フォーラム2004 ～「戦争の時代」のヒロシマ・ナガサキ～

日 時：8月5日午後1時30分～5時30分

会 場：広島パシフィックホテル（広島市中区上八丁堀8-16）

参加費：18,000円（宿泊費、交流会費含む）

講演とパネル討論ほか

- ・小中陽太郎（作家）
- ・安田純平（フリージャーナリスト）

翌日は平和記念式典参加と原爆碑めぐり

参加申し込み・問い合わせは下記MIC事務局か各単産本部へ

TEL : 03-3816-2988 Email : [mic@union-net.or.jp](mailto:mic@union-net.or.jp)